

研修制度や、中学校の部活動、対外試合の在り方など抜本的な改革が先決ではないかと考えます。今後は国に協力し、国・県・

市町村一体で改革に取り組む必要を感じています。本市教育委員会の行ってきた諸行事などを中心に7件の報告をします。

■学習到達状況調査

最近では世界的な学力テストの実施とその成果の公表により、「日本の児童生徒の学力は低下している」とか「基礎学力の定着に向けた取り組みを早急に実施しなければならぬ」など、大きな社会現象にまでなっていることは、ご承知のとおりです。

こうした中、本年度4月に岡山県下の全中学校の1年生を対象として「学習到達状況調査」が行われました。先日その集計結果がまとまりました。

体育大会で熱く燃えた生徒たち



市内中学校1年生の通過率（正答もしくは準正答の割合を表したもの）の平均は、

学校間で若干の差は認められましたが、国語が63%、社会が55%、算数が44%、理科が57%でした。これらの数値は、いずれも県の平均とほぼ同じ、もしくは若干高い結果でした。このことから、本市の中学1年生の基礎的な学力は、おおむね県の水準にあるといえます。

ところで、今日学校教育においては、児童生徒の算数・数学や理科の学習に対する興味・関心が薄れ、結果的に学力の低下がみられるといった、いわゆる「理数離れ」が指摘されています。この点から先ほどの教科ごとの通過率をみると、やはり算数の平均通過率が、他の教科に比べて低いことは問題と言わざるを得ません。

算数は、低年齢からの積み重ねが何よりも重要な教科なので、今一度、教科内容の体系を十分に踏まえた学習指導の在り方を見直し、工夫改善を図ることが求められています。

■児童虐待についての学校・教育委員会の関わり

本市では、児童虐待などの子どもの早期発見、早期対応をはじめ、子どもと家庭への支援を推し進めています。保健福祉部を中心に教育委員会、学校園、児童相談所や保健所、警察署などの関係専門諸機関との連携を図りながら、支援が必要と思われる子どもや保護者についての情報交換や必要な措置・支援についての協議を行っています。

学校としては、虐待にかかわって気にかかる子どもたちの家庭訪問や子育て支援課・児童相談所などへの情報提供を行うと同時に、関係機関と連携を取りながら保護者・子どもたちへの必要な支援を行っているところです。

現在のところ継続的な見守りが必要とするケースが多くあり、今後とも学校園、民生・児童委員、児童相談所、子育て支援課、学校教育課などの関係者が常時連絡を取り合いながら、必要な措置や支援を講じていく必要があると考えています。

■プールの安全確保

埼玉県ふじみ野市の市営プールで、児童が吸水口に吸い込まれ、死亡した事故に関して、大きく問題報道されたことは、ご承知のとおりです。

本市においても、B&Gのプール、小中学校のプールの吸い込み口の蓋の固定などについて、再度確認し、不備のなかったこと、また、プールの監視体制に

ついても問題のなかったことを確認しています。

■夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会は、8月19日、邑久スポーツ公園を会場に開催しましたが、台風10号の影響による悪天候にもかかわらず、多くの市民の皆さんの参加をいただき、無事に終了しました。

大会を支えた関係者の皆様のご指導とご協力のたまものご心から感謝しています。ありがとうございました。

■瀬戸内市美術館準備委員会の開設

牛窓を拠点に画業に専念した、わが国洋画壇の代表的風景画家、佐竹徳画伯の作品を中心に、展示する美術館の開館に向け、瀬戸内市美術館準備委員会を開設しています。現在基本構想の答申



朝早くから多くの市民が参加したラジオ体操

を得るため、協議を進めています。今後の予定としては、準備委員会の答申を受け、基本設計を行い、体制を整えて、平成22年度までに、開館したいと考えています。



淡水魚地域学習会に参加し、網で川面を探る子どもたち

■瀬戸内市スポーツ振興計画

「スポーツ立市」・「市民皆スポーツ」を目指す本市のスポーツ振興の指針となる、「瀬戸内市スポーツ振興計画」立案に向けて準備を進めています。

すでに、教育委員会事務局において素案ができあがったところであり、今後は「スポーツ振興審議会」で内容を十分検討し、できれば12月を目途に成案化していきます。

■瀬戸内市アユモドキ保全活用検討委員会の活動

アユモドキの生息状況を把握し、保全活用について検討するため、昨年度委員会を設置しました。